

高浜で汚染水漏れ

4号機 再稼働準備を延期

関西電力は21日、高浜原

発4号機（福井県高浜町）

000㍉。

4号機は出力87万キロワット、

の原子炉補助建屋の床に放射能汚染水が漏れたため、同日に予定していた再稼働の準備作業を取りやめて、

た。放射能量は推定1万4000㍉。このほかに床に漏れた水が回収された分もあり、漏えい量は合計で約34㍉、6万㍉になるといいます。

2011年7月に定期運転開始は1985年6月。2011年7月に定期検査のため停止して以来、運転していません。使用済み核燃料を再処理したウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）燃料を使うプ

22日以降に延期することを明らかにしました。

漏水原因などは特定されておらず、関電は調査を進めています。

ルサーマル発電を、4号機として初めて実施する構

関電によると、漏えいが見つかったのは20日。午後

3時30分に原子炉の1次冷却系につながる配管への通水を開始したところ、同42分に警報が発生。1次冷却

水から不純物を取り除く設備の前の床面に、約8㍉の水たまりが見つかりまし

検査を21日に開始する予定です。

高浜原発では、1月29日に3号機の再稼働を強行。関電は、4号機も今月下旬の再稼働を狙って準備を進めており、原子炉本体と1

次冷却水の圧力や温度を通常運転に近い状態に高める子炉への搬入が完了しています。

3日には4体のMOX燃料

を含む核燃料157体の原

子炉への搬入が完了しています。

子炉への搬入が完了して

います。

検査を21日に開始する予定です。